



作成年月日 20 年 月 日

## 戸建住宅簡易計算シート

## 外皮性能

物件名		
住所		
作成者		
地域の区分	1 地域	
構造	<input type="checkbox"/> RC造等 <input type="checkbox"/> S造	
断熱構造による住戸の種類	床断熱住戸	
浴室の断熱構造	床断熱	
部位の断熱工法の 組合せ※	屋根	
	外壁	
	床	

※RC造等の場合は、「外断熱」「内断熱」「外断熱+内断熱」のうち該当する断熱工法を記入する。

外皮平均熱貫流率  $U_A$ 

※下記の太枠内に数値を記入してください。

一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。窓の面積が単位住戸の床面積の合計に0.02を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数	熱貫流率 $U$	結果	
屋根又は天井		0.194	×	＝	(1)
外壁	一般部	0.489	×	＝	(2)
	基礎壁（玄関）	0.004	×	＝	(3)
床	浴室	0.009	×	＝	(4)
	その他の床	0.121	×	＝	(5)
窓		0.107	×	＝	(6)
ドア		0.014	×	＝	(7)

↑小数点第4位以下を切り上げ

		係数	線熱貫流率 $\psi$	結果	
土間床等の外周部	玄関等	0.021	×	＝	(8)

↑小数点第4位以下を切り上げ

		係数	線熱貫流率 $\psi$	結果	
熱橋※	屋根又は天井	0.059	×	＝	(9)
	壁	0.135	×	＝	(10)
	床	0.051	×	＝	(11)
	屋根又は天井と壁	0.217	×	＝	(12)
	壁と壁	0.130	×	＝	(13)
	壁と床	0.106	×	＝	(14)

↑小数点第4位以下を切り上げ

※RC造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

外皮平均熱貫流率  $U_A$  [W/(m<sup>2</sup>・K)]

(1)～(14)の合計

＝

※小数点第3位以下を切り上げ（基準値：0.46 [W/(m<sup>2</sup>・K)]以下であれば適合）

冷房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AC}$ 

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- 一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- 窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も大きな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の床面積の合計に0.04を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数	熱貫流率 $U$	結果
屋根又は天井		0.659	<input type="text"/>	<input type="text"/> (15)
外壁	一般部	0.790	<input type="text"/>	<input type="text"/> (16)
	基礎壁 (玄関)	0.004	<input type="text"/>	<input type="text"/> (17)
ドア		0.020	<input type="text"/>	<input type="text"/> (18)

↑小数点第4位以下を切り上げ

窓	係数	垂直面日射熱取得率 $\eta_d$	結果
	4.677	<input type="text"/>	<input type="text"/> (19)

↑小数点第4位以下を切り上げ

		係数	線熱貫流率 $\psi$	結果
熱橋※	屋根又は天井	0.200	<input type="text"/>	<input type="text"/> (20)
	壁	0.231	<input type="text"/>	<input type="text"/> (21)
	屋根又は天井と壁	0.536	<input type="text"/>	<input type="text"/> (22)
	壁と壁	0.203	<input type="text"/>	<input type="text"/> (23)
	壁と床	0.088	<input type="text"/>	<input type="text"/> (24)

↑小数点第4位以下を切り上げ

※RC造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

冷房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AC}$  [-] (15)~(24)の合計 = 

※小数点第2位以下を切り上げ (基準値：なし)

暖房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AH}$ 

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- 一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- 窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も小さな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の床面積の合計に0.04を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数	熱貫流率 $U$	結果
屋根又は天井		0.658	<input type="text"/>	<input type="text"/> (25)
外壁	一般部	0.898	<input type="text"/>	<input type="text"/> (26)
	基礎壁 (玄関)	0.002	<input type="text"/>	<input type="text"/> (27)
ドア		0.014	<input type="text"/>	<input type="text"/> (28)

↑小数点第4位以下を切り捨て

窓	係数	垂直面日射熱取得率 $\eta_d$	結果
	4.935	<input type="text"/>	<input type="text"/> (29)

↑小数点第4位以下を切り捨て

		係数	線熱貫流率 $\psi$	結果
熱橋※	屋根又は天井	0.199	<input type="text"/>	<input type="text"/> (30)
	壁	0.299	<input type="text"/>	<input type="text"/> (31)
	屋根又は天井と壁	0.536	<input type="text"/>	<input type="text"/> (32)
	壁と壁	0.214	<input type="text"/>	<input type="text"/> (33)
	壁と床	0.106	<input type="text"/>	<input type="text"/> (34)

↑小数点第4位以下を切り捨て

※RC造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

暖房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AH}$  [-] (25)~(34)の合計 = 

※小数点第2位以下を切り捨て (基準値：なし)

作成年月日 20 年 月 日

## 戸建住宅簡易計算シート

## 外皮性能

物件名			
住所			
作成者			
地域の区分	1 地域		
構造	<input type="checkbox"/> RC造等 <input type="checkbox"/> S造		
断熱構造による住戸の種類	床断熱住戸		
浴室の断熱構造	基礎断熱		
部位の断熱工法の 組合せ※	屋根		
	外壁		
	床		

※RC造等の場合は、「外断熱」「内断熱」「外断熱+内断熱」のうち該当する断熱工法を記入する。

外皮平均熱貫流率  $U_A$ 

※下記の太枠内に数値を記入してください。

一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。窓の面積が単位住戸の床面積の合計に0.02を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数	熱貫流率 $U$	結果	
屋根又は天井		0.192	×	=	(1)
外壁	一般部	0.482	×	=	(2)
	基礎壁(玄関)	0.004	×	=	(3)
	基礎壁(浴室)	0.012	×	=	(4)
床	その他の床	0.119	×	=	(5)
窓		0.105	×	=	(6)
ドア		0.014	×	=	(7)

↑小数点第4位以下を切り上げ

		係数	線熱貫流率 $\psi$	結果	
土間床等の外周部	玄関等	0.021	×	=	(8)
	浴室	0.024	×	=	(9)

↑小数点第4位以下を切り上げ

		係数	線熱貫流率 $\psi$	結果	
熱橋※	屋根又は天井	0.058	×	=	(10)
	壁	0.134	×	=	(11)
	床	0.051	×	=	(12)
	屋根又は天井と壁	0.214	×	=	(13)
	壁と壁	0.128	×	=	(14)
	壁と床	0.104	×	=	(15)

↑小数点第4位以下を切り上げ

※RC造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

外皮平均熱貫流率  $U_A$  [W/( $m^2 \cdot K$ )]

(1)~(15)の合計

=

※小数点第3位以下を切り上げ(基準値: 0.46 [W/( $m^2 \cdot K$ )]以下であれば適合)

冷房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AC}$ 

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- 一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- 窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も大きな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の床面積の合計に0.04を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数	熱貫流率 $U$	結果
屋根又は天井		0.650	<input type="text"/>	<input type="text"/> (16)
外壁	一般部	0.780	<input type="text"/>	<input type="text"/> (17)
	基礎壁 (玄関)	0.004	<input type="text"/>	<input type="text"/> (18)
	基礎壁 (浴室)	0.010	<input type="text"/>	<input type="text"/> (19)
ドア		0.019	<input type="text"/>	<input type="text"/> (20)

↑小数点第4位以下を切り上げ

	係数	垂直面日射熱取得率 $\eta_d$	結果
窓	4.613	<input type="text"/>	<input type="text"/> (21)

↑小数点第4位以下を切り上げ

		係数	線熱貫流率 $\psi$	結果
熱橋※	屋根又は天井	0.197	<input type="text"/>	<input type="text"/> (22)
	壁	0.228	<input type="text"/>	<input type="text"/> (23)
	屋根又は天井と壁	0.528	<input type="text"/>	<input type="text"/> (24)
	壁と壁	0.201	<input type="text"/>	<input type="text"/> (25)
	壁と床	0.086	<input type="text"/>	<input type="text"/> (26)

↑小数点第4位以下を切り上げ

※RC造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

冷房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AC}$  [-] (16)~(26)の合計 = 

※小数点第2位以下を切り上げ (基準値：なし)

暖房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AH}$ 

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- 一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- 窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も小さな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の床面積の合計に0.04を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数	熱貫流率 $U$	結果
屋根又は天井		0.649	<input type="text"/>	<input type="text"/> (27)
外壁	一般部	0.886	<input type="text"/>	<input type="text"/> (28)
	基礎壁 (玄関)	0.002	<input type="text"/>	<input type="text"/> (29)
	基礎壁 (浴室)	0.007	<input type="text"/>	<input type="text"/> (30)
ドア		0.014	<input type="text"/>	<input type="text"/> (31)

↑小数点第4位以下を切り捨て

	係数	垂直面日射熱取得率 $\eta_d$	結果
窓	4.867	<input type="text"/>	<input type="text"/> (32)

↑小数点第4位以下を切り捨て

		係数	線熱貫流率 $\psi$	結果
熱橋※	屋根又は天井	0.196	<input type="text"/>	<input type="text"/> (33)
	壁	0.295	<input type="text"/>	<input type="text"/> (34)
	屋根又は天井と壁	0.529	<input type="text"/>	<input type="text"/> (35)
	壁と壁	0.211	<input type="text"/>	<input type="text"/> (36)
	壁と床	0.104	<input type="text"/>	<input type="text"/> (37)

↑小数点第4位以下を切り捨て

※RC造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

暖房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AH}$  [-] (27)~(37)の合計 = 

※小数点第2位以下を切り捨て (基準値：なし)

作成年月日 20 年 月 日

## 戸建住宅簡易計算シート

## 外皮性能

物件名		
住所		
作成者		
地域の区分	1 地域	
構造	<input type="checkbox"/> RC造等 <input type="checkbox"/> S造	
断熱構造による住戸の種類	床断熱住戸	
浴室の断熱構造	外気等に接する浴室床なし	
部位の断熱工法の組合せ*	屋根	
	外壁	
	床	

※RC造等の場合は、「外断熱」「内断熱」「外断熱+内断熱」のうち該当する断熱工法を記入する。

外皮平均熱貫流率  $U_A$ 

※下記の太枠内に数値を記入してください。

・一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。窓の面積が単位住戸の床面積の合計に0.02を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数	熱貫流率 $U$	結果	
屋根又は天井		0.194	×	=	(1)
外壁	一般部	0.489	×	=	(2)
	基礎壁(玄関)	0.004	×	=	(3)
床	その他の床	0.129	×	=	(4)
窓		0.107	×	=	(5)
ドア		0.014	×	=	(6)

↑小数点第4位以下を切り上げ

		係数	線熱貫流率 $\psi$	結果	
土間床等の外周部	玄関等	0.021	×	=	(7)

↑小数点第4位以下を切り上げ

		係数	線熱貫流率 $\psi$	結果	
熱橋*	屋根又は天井	0.059	×	=	(8)
	壁	0.135	×	=	(9)
	床	0.051	×	=	(10)
	屋根又は天井と壁	0.217	×	=	(11)
	壁と壁	0.130	×	=	(12)
	壁と床	0.106	×	=	(13)

↑小数点第4位以下を切り上げ

※RC造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

外皮平均熱貫流率  $U_A$  [W/( $m^2 \cdot K$ )]

(1)~(13)の合計

=

※小数点第3位以下を切り上げ(基準値: 0.46 [W/( $m^2 \cdot K$ )]以下であれば適合)

冷房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AC}$

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- ・一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- ・窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も大きな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の床面積の合計に0.04を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数	熱貫流率U	結果
屋根又は天井		0.659	<input type="text"/>	<input type="text"/> (14)
外壁	一般部	0.790	<input type="text"/>	<input type="text"/> (15)
	基礎壁（玄関）	0.004	<input type="text"/>	<input type="text"/> (16)
ドア		0.020	<input type="text"/>	<input type="text"/> (17)

↑小数点第4位以下を切り上げ

	係数	垂直面日射熱取得率 $\eta_d$	結果
窓	4.677	<input type="text"/>	<input type="text"/> (18)

↑小数点第4位以下を切り上げ

		係数	線熱貫流率 $\psi$	結果
熱橋※	屋根又は天井	0.200	<input type="text"/>	<input type="text"/> (19)
	壁	0.231	<input type="text"/>	<input type="text"/> (20)
	屋根又は天井と壁	0.536	<input type="text"/>	<input type="text"/> (21)
	壁と壁	0.203	<input type="text"/>	<input type="text"/> (22)
	壁と床	0.088	<input type="text"/>	<input type="text"/> (23)

↑小数点第4位以下を切り上げ

※RC造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

冷房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AC}$  [-] (14)~(23)の合計 =

※小数点第2位以下を切り上げ（基準値：なし）

暖房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AH}$

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- ・一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- ・窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も小さな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の床面積の合計に0.04を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数	熱貫流率U	結果
屋根又は天井		0.658	<input type="text"/>	<input type="text"/> (24)
外壁	一般部	0.898	<input type="text"/>	<input type="text"/> (25)
	基礎壁（玄関）	0.002	<input type="text"/>	<input type="text"/> (26)
ドア		0.014	<input type="text"/>	<input type="text"/> (27)

↑小数点第4位以下を切り捨て

	係数	垂直面日射熱取得率 $\eta_d$	結果
窓	4.935	<input type="text"/>	<input type="text"/> (28)

↑小数点第4位以下を切り捨て

		係数	線熱貫流率 $\psi$	結果
熱橋※	屋根又は天井	0.199	<input type="text"/>	<input type="text"/> (29)
	壁	0.299	<input type="text"/>	<input type="text"/> (30)
	屋根又は天井と壁	0.536	<input type="text"/>	<input type="text"/> (31)
	壁と壁	0.214	<input type="text"/>	<input type="text"/> (32)
	壁と床	0.106	<input type="text"/>	<input type="text"/> (33)

↑小数点第4位以下を切り捨て

※RC造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

暖房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AH}$  [-] (24)~(33)の合計 =

※小数点第2位以下を切り捨て（基準値：なし）

作成年月日 20 年 月 日

## 戸建住宅簡易計算シート

## 外皮性能

物件名		
住所		
作成者		
地域の区分	1 地域	
構造	<input type="checkbox"/> RC造等 <input type="checkbox"/> S造	
断熱構造による住戸の種類	基礎断熱住戸	
部位の断熱工法の 組合せ※	屋根	
	外壁	
	床	

※RC造等の場合は、「外断熱」「内断熱」「外断熱+内断熱」のうち該当する断熱工法を記入する。

外皮平均熱貫流率  $U_A$ 

※下記の太枠内に数値を記入してください。

一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。窓の面積が単位住戸の床面積の合計に0.02を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数	×	熱貫流率 $U$	=	結果	
屋根又は天井		0.185	×		=		(1)
外壁	一般部	0.466	×		=		(2)
	基礎壁(玄関)	0.003	×		=		(3)
	基礎壁(浴室・その他)	0.051	×		=		(4)
窓		0.102	×		=		(5)
ドア		0.013	×		=		(6)

↑小数点第4位以下を切り上げ

		係数	×	線熱貫流率 $\psi$	=	結果	
土間床等の外周部	玄関等	0.012	×		=		(7)
	浴室・その他	0.101	×		=		(8)

↑小数点第4位以下を切り上げ

		係数	×	線熱貫流率 $\psi$	=	結果	
熱橋※	屋根又は天井	0.056	×		=		(9)
	壁	0.129	×		=		(10)
	屋根又は天井と壁	0.207	×		=		(11)
	壁と壁	0.124	×		=		(12)
	壁と床	0.101	×		=		(13)

↑小数点第4位以下を切り上げ

※RC造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

外皮平均熱貫流率  $U_A$  [W/( $m^2 \cdot K$ )]

(1)~(13)の合計

=

※小数点第3位以下を切り上げ(基準値: 0.46 [W/( $m^2 \cdot K$ )]以下であれば適合)



冷房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AC}$ 

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- 一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- 窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も大きな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の床面積の合計に0.04を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数	熱貫流率 $U$	結果
屋根又は天井		0.628	<input type="text"/>	<input type="text"/> (14)
外壁	一般部	0.752	<input type="text"/>	<input type="text"/> (15)
	基礎壁(玄関)	0.003	<input type="text"/>	<input type="text"/> (16)
	基礎壁(浴室・その他)	0.084	<input type="text"/>	<input type="text"/> (17)
ドア		0.019	<input type="text"/>	<input type="text"/> (18)

↑小数点第4位以下を切り上げ

	係数	垂直面日射熱取得率 $\eta_d$	結果
窓	4.453	<input type="text"/>	<input type="text"/> (19)

↑小数点第4位以下を切り上げ

		係数	線熱貫流率 $\psi$	結果
熱橋※	屋根又は天井	0.190	<input type="text"/>	<input type="text"/> (20)
	壁	0.220	<input type="text"/>	<input type="text"/> (21)
	屋根又は天井と壁	0.510	<input type="text"/>	<input type="text"/> (22)
	壁と壁	0.194	<input type="text"/>	<input type="text"/> (23)
	壁と床	0.166	<input type="text"/>	<input type="text"/> (24)

↑小数点第4位以下を切り上げ

※RC造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

冷房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AC}$  [-] (14)~(24)の合計 = 

※小数点第2位以下を切り上げ(基準値：なし)

暖房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AH}$ 

※下記の太枠内に数値を記入してください。

- 一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。
- 窓に複数の異なる仕様を有する場合は、垂直面日射熱取得率が最も小さな仕様の垂直面日射熱取得率とする。窓の面積が単位住戸の床面積の合計に0.04を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

		係数	熱貫流率 $U$	結果
屋根又は天井		0.627	<input type="text"/>	<input type="text"/> (25)
外壁	一般部	0.855	<input type="text"/>	<input type="text"/> (26)
	基礎壁(玄関)	0.002	<input type="text"/>	<input type="text"/> (27)
	基礎壁(浴室・その他)	0.100	<input type="text"/>	<input type="text"/> (28)
ドア		0.014	<input type="text"/>	<input type="text"/> (29)

↑小数点第4位以下を切り捨て

	係数	垂直面日射熱取得率 $\eta_d$	結果
窓	4.698	<input type="text"/>	<input type="text"/> (30)

↑小数点第4位以下を切り捨て

		係数	線熱貫流率 $\psi$	結果
熱橋※	屋根又は天井	0.189	<input type="text"/>	<input type="text"/> (31)
	壁	0.285	<input type="text"/>	<input type="text"/> (32)
	屋根又は天井と壁	0.510	<input type="text"/>	<input type="text"/> (33)
	壁と壁	0.203	<input type="text"/>	<input type="text"/> (34)
	壁と床	0.201	<input type="text"/>	<input type="text"/> (35)

↑小数点第4位以下を切り捨て

※RC造等は部位の断熱工法の組合せにより熱橋が発生する構造熱橋部が異なる。熱橋が発生しない場合は「0」を記入する。

暖房期の平均日射熱取得率  $\eta_{AH}$  [-] (25)~(35)の合計 = 

※小数点第2位以下を切り捨て(基準値：なし)